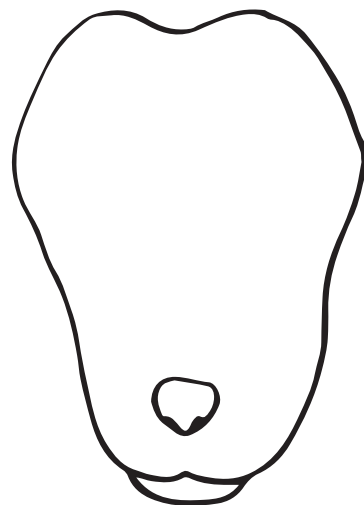


ヤギのかんさつシート

ヤギについて調べてみよう！1頭のヤギを決めて、観察！

行動をかんさつ！ み見られたものに○をしよう

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> <small>ある</small> 歩いていた | <input type="checkbox"/> <small>はし</small> 走っていた |
| <input type="checkbox"/> <small>すわ</small> 座っていた | <input type="checkbox"/> <small>なごえ</small> 鳴き声を出した |
| <input type="checkbox"/> うんちをした | <input type="checkbox"/> おしっこをした |
| <input type="checkbox"/> <small>みず</small> 水を飲んでいた | <input type="checkbox"/> <small>くさ</small> 草を食べていた |
| <input type="checkbox"/> <small>は</small> 木の葉を食べていた | |
| <input type="checkbox"/> <small>くち</small> 口をもぐもぐ動かしていた | |
| <input type="checkbox"/> その他 | |



ヤギの顔を完成させよう！

肢をかんさつ！ あしヤギの肢に○をしよう



発見したこと

**私が観察した
ヤギの名前**

うんちをかんさつ！

ヤギのうんちはどれ？



どんなにおい？

うんちを観察して発見したことは？

うんちをヒントに、ヤギが食べているものを考えてみよう！

角のある動物を探そう！

↓角のある動物に○をつけよう

- ウシ
- キリン
- シマウマ
- トナカイ
- アメリカバイソン
- ロバ

がっこうめい
学校名

なまえ
名前

先生用 シバヤギのかんさつシートと解説

ワークシートのねらい ヤギの行動や体の特徴を観察することを通して、ヤギへの興味・関心を引き出すと共に、生き残るために獲得してきたしくみや特徴を理解する

シバヤギ 偶蹄目ウシ科

- ・偶蹄（ウシ）目であり、特徴として2つに割れた蹄で、中指と薬指にあたる。
- ・胃が4つある反すう動物
消化しにくい繊維質の多い青草などを食べるため、一度食べた草を胃から口に戻してかみくだき、また胃に返して、胃の中にすむ微生物が草を分解することで微生物が増え、その微生物や消化産物を栄養として消化・吸収しています。
- ・動物公園では、青草や乾草を与えています。寢室や広場に白い塊（鉱塩）が置いてありますが、これもヤギの健康には欠かせません。時々舐めて、足りないミネラルを補っています。



■ 子ども動物園のヤギ

子ども動物園で飼育しているヤギは「シバヤギ」という種類のヤギです。日本在来種の家畜ヤギの一種ですが、現在はヨーロッパのザーネン種が導入されて以来、雑種化が進み、純粋のものはいないとされています。

■ ヤギは家畜です！

ヤギは家畜として古くから飼育され、乳・毛・肉用種などたくさんの品種があります。ヤギは粗食にもよく耐え、険しい地形も苦としません。そのため、山岳部や乾燥地帯で生活する人にとって貴重な家畜となっています。



■ うんちからわかる健康と生き残り戦略

うんちは健康のバロメーターです。人間も同じですが、軟便のときはやはり動物も体調が悪い証拠です。飼育員は、健康状態をチェックするときの1つとしてうんちを確認しています。

では、なぜヤギのうんちはコロコロなのでしょうか？

ヤギは草などの植物を食べます。食べている草は消化しにくいいため、反すうしている間に、水分はたくさん吸収され、消化できなかった固形物が糞となるため、コロコロうんちになるのです。実は、草食動物でうんちがコロコロしているのは、生き残り戦略の1つと考えられています。草食動物は敵に立ち向かうというよりは逃げることを最大の武器にしているため、力んで出すうんちは不利です。コロコロうんちなら、パラパラとうんちを出して、いつでも逃げるのできるのです。



さらに、一般的に、草食動物などの弱い動物ほどうんちは臭わず、逆に肉食動物のうんちは臭いが強いのです。これは弱い動物が臭いうんちをすると、天敵に見つかる危険が高くなるため、臭くないうんちをする草食動物が生き残った結果だと考えられています。

■ ヤギの角

ウシ科の動物の特徴は、ほとんどの種でオスもメスも角を持っていることです。ヤギの角は、後ろ斜めに延びているので、正面から突き刺さることはありません。仲間同士の争いでも、角の根元をガシッとぶつけ合うだけで、相手を傷つけることはあまりありません。また、角同士をぶつけあうことで、力関係を確かめ、無駄な争いをさけています。

ヤギの角は、前頭骨の角突起（骨でできた芯）を角鞘（ケラチンというタンパク質の鞘）が覆うという構造をしています。角が生えかわったり、枝分かれすることはありません。



* 飼育員のコラム 『上あごには前歯がない』*

ヤギに青草をあげられる「お食事タイム」に参加すると、ヤギの食事の様子が観察できます。ヤギの口に注目してみましょう。

なんと、ヤギの上あごには前歯がありません。その代わりに、まな板のような歯床板があります。下あごの歯を包丁のようにして、上あごの歯床板で草を食べています。また、奥歯は上下に生えており、草をすり潰しています。食べている様子を観察してみると、舌や唇、歯を上手に使って食べているのがわかります。ぜひ、じっくり観察してみてください。

